



岩井よしえ Tel/Fax955-7340 深良 2706-2
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岩井よしえ
yosie-820aug@purple.plala.or.jp



岡本かずえ Tel/Fax992-5174 茶畑 854-3E101
(ブログ、ツイッター、YouTube) 岡本かずえ
peace_love_cabird@yahoo.co.jp

明るい裾野

弱いひと 困っているひとの味方—直線の共産党

困ったことは岡本かずえ、岩井よしえのなんでも相談へ

①熊本などの地震救援募金訴え ②共産党裾野市議団ニュース(2件) ③福島レポート ④裾野市議会の議会報告会(市議会主催) ⑤裾野駅前で昭和初期の風景が姿を現しています。

熊本・大分などの救援を！

熊本(大分)地震被災者救援・支援のための募金のお願い



熊本・大分地方を中心に九州で続いている連続地震は、16日未明にマグニチュード7.3の、阪神・淡路大震災に匹敵する大きな地震が発生、地震の発生は阿蘇地方や大分県にも広がりました。被害は拡大を続けています。

震度7の地震が連続して起こったというのは過去に例がありません。終息の見通しも立っていません。

亡くなられた方とそのご家族をはじめ、被災された方に心からお見舞い申し上げます。

日本共産党は、地震発生当夜に、熊本地震災害対策本部を立ち上げ、被害の実態把握と行政組織の対応促進、被災者救援・支援のための活動を開始しています。現地の日本共産党は、安否確認、避難所の確保、物資援助など、避難者・被災者救援の活動をしています。

そして、全国のみなさんに「熊本地震被災者救援・支援募金」を訴えています。この募金は日本共産党がお預かりし、被災地の自治体や関係機関への義援金として、またさまざまな被災者救援活動を通じて、確実に被災者の救援にあてていきます。

私たちも、15日の定例スーパー前宣伝で募金への協力を訴えました。その後も街頭での募金活動を続けています。



募金して下さる高校生、みなさん一人ひとりの善意を自治体に届けます。東北大震災の時には10億円を超える善意を届けることができました。

温水プール・未使用の利用券の払い戻し期間について改善してほしいと相談がありました

裾野市には市営の温水プールがありません。そこで、市が提携する温水プール(清水町温水プール、三島市民温水プール、裾野スイミングスクール)を市民が利用する時に、利用料金の一部を助成する「裾野市民水泳振興事業」があります(利用しようとする温水プールの使用料の2分の1)。2014年度の利用券販売枚数は1,895枚。

(長泉町営温水プールが利用できた2012年度利用券販売枚数は5,982枚。2013年度からは長泉町の申し出により対象外になりました。)



利用券の有効期間は、販売した年度の末日までとなっています。ところが、未使用の利用券の払い戻し期間が「有効期間内に限り払い戻しをすることができる。」と矛盾状態です。このことについて、先日、温水プールを利用されている方から相談がありました。「4月に入ってから払い戻しができるようにしてほしいと市にお願いをしたら、要綱で決まっていることだから出来ないと言われました」というご意見でした。でも

会計年度が終わっても、出納整理期間があるから、対応可能ではないでしょうか。

生涯学習課に伺ったところ、市民からの意見があり検討しているとのことでした。早急な対応を望みます。

通学路整備事業費が320万円から700万円に

学校や地域からの、通学路整備の要望に応える予算が倍増になりました。と言っても平成22年度は1,000万円、平成23年度は1,520万円あった通学路整備事業費ですが、平成24年度からは300万円に減額されてしまいました。通学路整備には道路新設改良費も使っているから要望には対応しているとの理由と一緒に。

今年度予算では、300万円で改良工事をするのは無理との理由で、700万円つきました。700万円に増額したことで側溝改修では50m程整備できるようになるとのことです。

しかし増額分380万円は、道路新設改良費が減になりました。これが予算の枠配分というもの???

子ども達を事故から守るためには通学路整備は緊急性があります。市民生活に必要なところには、枠を越えて増額すべきと思います。



東小学校の北側の通学路です。舗装が途中で止まっています。砂利で歩きにくくなっています。穴うめではなく、きちんと整備してほしいとご近所の方の声がありました。市に要望しました。



福島レポート 復興支援のちぐはぐ

福島に4月19日から21日までの三日間、調査に行ってきました。ここでは全体の感想だけを述べたいと思います。

福島では来年3月に「自治体からの避難解除要望を受けて住民の帰還を認める」ということになっているようです。

自治体の要望に応える、という体裁をとっていますが、実際は国の方針に自治体が従うという構図です。

今、福島では住民の帰還に向けて「除染」が盛んに行われています。住民の全くいない町々村々で多くの重機とダンプカーが走り回っています。除染の住んだところの放射線量は低くなっていますが、除染のやられていないところは高線量です。除染されてピカピカにきれいになった家々が並んでいますが、帰還希望者は少数です。

福島第一原発災害でコミュニティも壊された町々村々。帰還者を望めない町々村々。それでも除染以外の「公共事業」も続けられています。

「道路の拡幅工事」や「下水道工事」も人の全くいない町で粛々と進められていました。

「人の見えない復興工事」というのが感想です。

だれも住んでいない町、人っ子一人いない町で進められている下水道工事



除染の終わった家は屋根から壁まで磨かれてピカピカ。土壌も表面は削り取られてグラウンドのよう。



常磐線は竜田駅まで。隣の富岡駅は駅舎もきれいなサッパリとなくなって更地になっていました。



福島第一原発は左側に見える山の向こう(北側)になります。除染されて、まるで広いグラウンドのような海岸沿いの土地。

(調査行記:編集部・岡本裕市)

裾野市議会主催の 「議会報告会」が 市内6カ所で開かれます

裾野市議会主催の「議会報告会」が今年も開かれます。

5月19日と25日の二日間(時間は18時から20時まで)、市内6カ所で開かれます。

5月19日(木)は南小学校1階会議室、須山研修センター2階大ホール、深良支所2階大会議室です。

5月25日(木)は富岡支所2階大会議室、東地区コミュニティセンター会議室、二本松公民館ホールです。

5月15日発行予定の議会だよりで「3月定例会の報告及び、市政について市民のみなさまと自由に意見などを交換し合える場として議会報告会を開催します」と案内されます。

★岡本和枝の担当は5月19日の深良支所と5月25日の二本松公民館です。

★岩井良枝の担当は5月19日は須山地区研修センター、5月25日は東地区コミュニティセンターです。

また、テーマを定め(全会場統一)でワークショップ形式での意見交換も行います。

テーマは、「公共交通(生活の足の確保)のあり方」について、です



裾野駅前に「昭和初期の風景」がよみがえっています

裾野駅西区画整理で建物が取り壊されていますが、駅前広場予定地に「昭和初期の風景」がよみがえっています。

旧「かじまや履物店」と駐輪場との間にあったコンクリート製の橋が姿を現しています。また三間堀川右側には、今は見かけることのなくなった「枕木」を利用した柵が残っています。見るなら今のうちです。

